

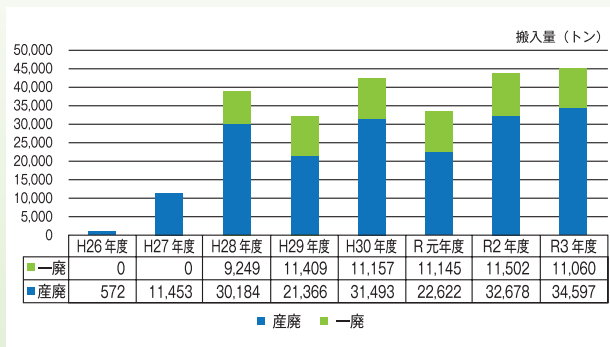


令和4年10月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

搬入実績と埋立状況について

【搬入実績】

昨年度の搬入量は産業廃棄物が34,597トン、一般廃棄物を含む総搬入量は45,657トンで、どちらも過去最多となりました。

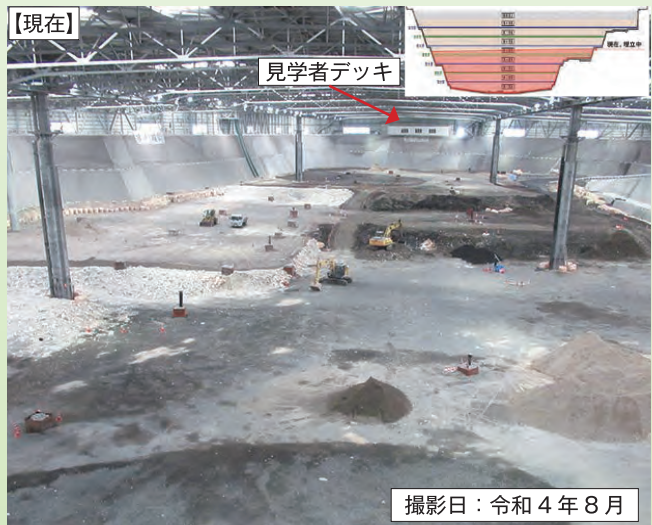
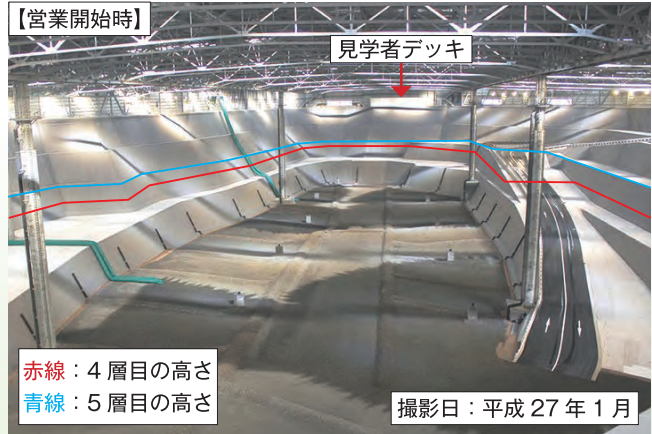


平成27年1月の開業から本年8月末までに約27万トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類別では、燃え殻（一般廃棄物を含む）が半分近くを占めており、がれき類（廃石膏ボードを含む）、汚泥の3種類を合わせると全体の約4分の3となっています。

(令和4年8月末現在)

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	121,976	46.03
がれき類(廃石膏ボードを含む)	44,926	16.95
汚泥	30,953	11.68
ばいじん(一般廃棄物を含む)	22,400	8.45
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	21,918	8.27
木くず	12,396	4.68
廃プラスチック	4,713	1.78
13号廃棄物	3,221	1.22
鉱さい	1,319	0.50
動植物性残さ	471	0.18
紙くず	269	0.10
金属くず	256	0.09
繊維くず	190	0.07
合計	265,008	100.00



【埋立状況】

本年1月で8年目を迎え、埋立期間15年間の折返しの年となりました。

埋立地全8層のうち第4層目の埋立が昨年12月に終了し、現在、第5層目を見学者デッキ下の区画より順次、埋立中です。

引き続き、安心・安全を第一とした施設運営、廃棄物の適正処理に努めてまいります。

教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！
 前は「エコパークかごしま」に持ち込まれる産業廃棄物の一部と、
 中間処理施設の「破碎施設」について説明しましたね。

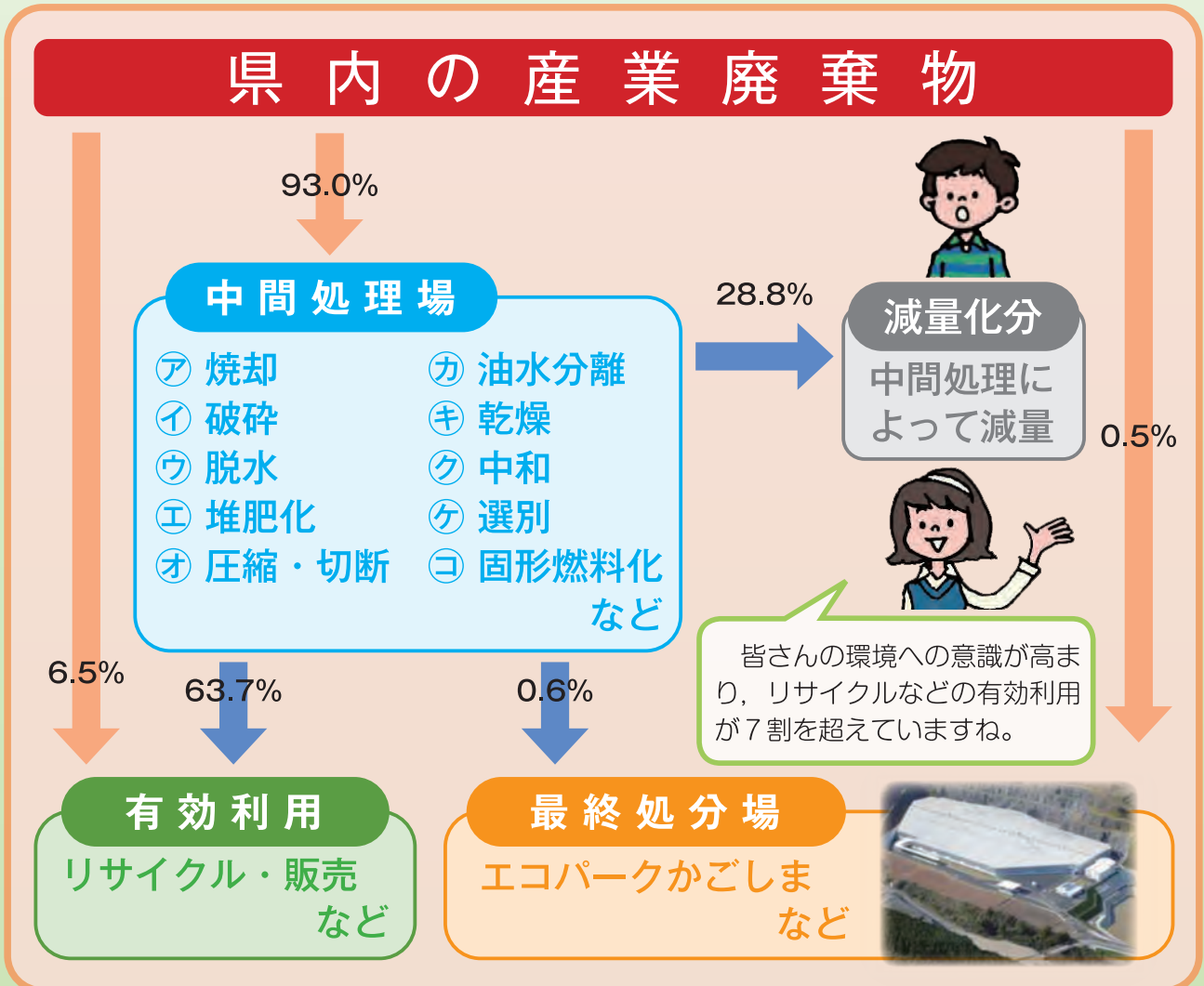
破碎することで産業廃棄物のサイズを小さくするだけ
 じゃなく、リサイクル製品に生まれ変わっていたよね！

産業廃棄物の処理は捨てるだけじゃなくて奥が深い
 よね。
 今回はどんなことを教えてもらえるのかな。



今回は産業活動で発生している汚泥の処理に関係
 がある、下図の㊦の脱水施設について勉強していま
 しょう。

産業廃棄物の流れ





汚泥は、工場や下水処理場などから発生する汚れた水を綺麗にしたときに発生します。

汚れた水を綺麗にすると、どうして汚泥が発生するの？



そうですね、今回は、脱水施設についての説明と一緒に、汚泥が発生する仕組みについても、簡単に説明していくよ。

【ウ】 脱水施設

工場などからの排水は、薬剤や微生物の力を借りてきれいにしており、そのときにできた薬剤や微生物からの汚れの塊が汚泥となります。

汚泥はそのままだと水をたくさん含んでいるため、脱水施設に搬入され余分な水分を除去しています。

汚れた水



薬剤などで処理

脱水施設



回転式の脱水施設



圧縮式の脱水施設

きれいな水



河川などへ放流、
または再利用

汚泥



堆肥化施設や最終処分場へ



脱水のやり方にもいろんな方法があるんだね。
汚泥はリサイクルされずに処分されちゃうのかな？

汚泥は堆肥化施設に持って行くことで、作物の肥料に生まれ変わるものもあります。

次回は堆肥化施設を取り上げるから楽しみにしててね！



排出事業者様にお話を伺いました！

株式会社丸山喜之助商店（日置市伊集院町）代表取締役 丸山明紀さんにお話を伺いました。



太陽光パネルリサイクルセンターは、南九州初の廃棄太陽光パネルを100%リサイクルできる設備です。

当社は、創業106年を迎える、産業廃棄物の収集運搬や中間処理を行っている会社です。

最近特に力を入れている事業として、食品リサイクル（食品ロスの堆肥化）や廃棄太陽光パネルのリサイクル事業など、今後もリサイクルを通じ環境保全と地域の産業活動に貢献できるように取り組んでまいります。



エコパークかごしまについては、屋根で覆われた埋立施設であり、安心して利用できています。

また、県内の管理型処分場なので、当社からも40分という距離も輸送コストを抑え、環境への負荷も軽減されています。

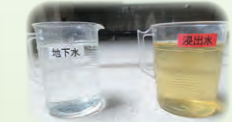
今後はさらに循環型社会の形成を目指し、皆が住みよい町づくりに貢献していただけるよう取り組んでいきます。

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質等（地下水及び河川水）の測定を実施しています。

また、毎日の設備点検においても地下水や浸出水等に異常が無いか確認しています。

これらの調査結果については、これまで同様、異常は認められていません。



地下水は、浸出水が漏れることなくきれいに保たれています。

詳しい調査結果については、ホームページに掲載しています。

エコパーク周辺の地域振興策について

県では、準用河川阿茂瀬川の改修工事を行っており、令和3年度から、阿茂瀬橋上部の工事を行っています。

令和4年度は、市道付替工事等が予定されています。



阿茂瀬橋上部工



側溝・舗装整備済箇所

県道百次木場茶屋線の道路整備については、冠岳橋から百次大原野集落側の側溝・舗装工事300mが完了しています。

令和4年度は、冠岳橋の架替え工事等が予定されています。

☆編集後記☆

「エコパークかごしま通信 VOL.30」はいかがでしたか。

エコパークかごしまでは、児童・生徒を対象に、実験やクイズ、施設見学等を通して廃棄物や環境について楽しく学べる環境学習も行っていますので、御利用ください。

今後とも、分かりやすい情報発信と安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。

問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町 6924 番地 11
TEL 0996-21-1220
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。